

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
1	施灸の基本及び各種の施灸法を生徒の視覚障害の状態に応じて具体的に指導し、臨床に生かすことができるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12		
2	宗気	順序は問わない。	各3×3		
	營気				
	衛気				
2	<ul style="list-style-type: none"> ・推动作用 ・温煦作用 ・固攝作用 ・防御作用 ・気化作用 ・栄養する作用 ・情報を伝達する作用 	順序は問わない。 5つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各3×5	34	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・脹痛 ・胸悶・胸肋部痛 ・腹部の膨満感 ・抑鬱感 	順序は問わない。 2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×2		
3	1	イ, エ, オ	3つとも合っているものだけを正答とする。	10	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・頬車 ・頭維 ・聴官 ・承光 ・通天 ・絡却 ・角孫 ・耳門 ・和髎 ・糸竹空 ・瞳子髎 ・聴会 ・上関 ・頷厭 ・懸顛 ・懸釐 ・曲鬢 ・率谷 ・天衝 ・目窓 ・正營 ・承靈 	順序は問わない。 4つ書かれていればよい。	各3×4	42
	3	舌苔白膩, 脈滑	順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・片方の眼に生じるキリで突かれたような痛み ・結膜充血 ・流涙 ・鼻閉 ・鼻汁 ・Horner 症候群による眼瞼下垂, 縮瞳 	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	1.0	

特別支援学校高等部理療科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
4	1 昼は高く夜の睡眠中には低くなる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	32
	2 イ, ウ	2つとも合っているものだけを正答とする。	8	
	3 血圧低下や循環血液量の減少, 血中Na ⁺ 濃度の低下に伴い, 腎臓の糸球体近接細胞からレニンが分泌される。レニンは, 血中のアンジオテンシノジェンをアンジオテンシンIに変換する。アンジオテンシンIはアンジオテンシン変換酵素によってアンジオテンシンIIに変換される。アンジオテンシンIIは, 副腎皮質に作用して, アルドステロンの分泌を促進させる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	14	
5	1 術者と患者は安静に呼吸をともにし, 呼気時に鍼を刺入し, 吸気時にはその刺入を止め, これを繰り返して目的の組織に達したならば抜去するが, このときには吸気時に抜き呼気時にとどめる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7	28
	2 示指打法 副刺激術	順序は問わない。 2つとも合っているものだけを正答とする。 示指打法は, 軽打術 もよい。 副刺激術は, 氣拍手術 もよい。	7	
	3 遠道刺		7	
	4 合谷刺		7	
6	イ, ウ, エ	全部合っているものだけを正答とする。	12	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ, 礼儀, 言葉づかいを常に意識すること。 ・患者を理解し, 施術に熱心であること。 ・常に知識を広め, 技術の向上に努めること。 ・対象者によりよい信頼関係を築くため, 相手に不快感を与えないこと。 ・施術に関する説明の義務を忘れないこと。 ・自分の健康管理に努めること。 ・守秘義務を日常から意識すること。 	5つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	各5×5	25
8	1 生徒Bは、「触診したら、筋が緊張しているし、体を捻じったり、後ろに倒したりしたら痛いと言われているからです。」と言っていますが、このことは、筋筋膜性腰痛の所見ではないから	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	15
	2 筋筋膜性の腰痛は、前屈動作の障害が現れることから、前屈動作による所見	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7	